

1. 原子力の再起動がないとした場合の需給バランス

- 各H1需要(1日最大電力)における今夏の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。
- ① 定着節電を織り込み、平年並み気温の場合 : (7月) 7.6% (8月) 7.5%
 - ② 定着節電を織り込み、2010年度猛暑並み気温の場合 : (7月) 4.2% (8月) 4.1%

(単位: 万kW, %)

		7月		8月	
		①	②	①	②
H1需要		1,096	1,134	1,096	1,134
供給力	原子力	0	0	0	0
	火力	1,011	1,011	1,011	1,011
	水力	55	48	48	48
	揚水	142	145	142	144
	地熱・太陽光・風力	31	32	32	32
	融通	▲56	▲50	▲50	▲50
	新電力への供給等	▲4	▲4	▲4	▲4
合計		1,179	1,181	1,179	1,181
供給予備力		83	47	83	47
供給予備率		7.6	4.2	7.5	4.1

(注1) 定着節電は▲43万kWを織り込み。

(注2) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(注3) ①, ②については、端数処理の関係で7月と8月の供給予備率が異なる。

(注4) 周波数変換装置(FC)を通じた中西日本への電力融通が行われる場合と行われない場合で、当社の供給力に変更はない。

2. 需要見通し

【今夏(2014年度)見通し(H1)】

※H1:1日最大電力, H3:最大3日平均電力

H1需要 (万kW)		備 考	
①	1,096	・節電織り込み ・平年並み気温	【2014年度H3想定 1,086万kW】 ×【過去5年間のH1/H3比率 1.009】
②	1,134	・節電織り込み ・2010年度猛暑並み気温	(【2014年度H3想定 1,086万kW】+【2010年度猛暑影響 38万kW】) ×【過去5年間のH1/H3比率 1.009】

【要因別影響(H3)】

■ 今夏(2014年度)見通し

2014年度対2010年度	万kW
2014年度想定	1,086
2010年度実績	1,191
差分	▲105
気温影響	▲38
節電影響	▲43
経済影響	▲22
離脱影響	▲2

■ 昨夏(2013年度)実績

2013年度対2010年度	万kW
2013年度実績	1,107
2010年度実績	1,191
差分	▲84
気温影響	▲6
節電影響	▲51
経済影響	▲24
離脱影響	▲3

【気温感応度】(単位:万kW/°C)

2014年度想定	30
2013年度実績	30
2012年度実績	28

【気温関連データ】(単位:°C)

過去10年間の 最高気温の平均値	35.2
2010年度猛暑の 最高気温	35.9